

# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

2月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2015年(平成27年) 2月1日(日)

NO. 161

## 倫理文化講演会

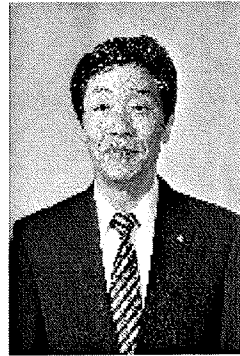
三月八日(日)

午後一時三十分〜

ホリデーイン・トーレン  
ス

藤崎正剛部長

「生きぬく力」



家庭倫理講演会  
開催趣旨

予測できない出来事が頻発する大変動の時代を、私たちは生きていきます。人口激減や雇用の不安定等々、将来の不安の種も尽きません。しかしどのような状況にあつても、たくましく生きる力を養い、未来を切り拓いていかねばなりません。では、どうしたらその力を涵養できるでしょうか。

まず見つめ直したいのは、じぶんの足元です。すなわち、生活の基盤である家庭の在り方にほかなりません。家庭に安らぎと調和があれば、生きる力が沸き起ります。そして困難やトラブルに直面したとき、家族が結束し、解決していく経験を通して、強く生きぬく力が培われていきます。

全国に二〇四の拠点を持つ家庭倫理の会では、「純粹倫理」と呼ぶ生活法則を拠り所として、家庭を良くし地域をより良くしていく実践活動を、長年にわたり展開してきました。毎年開催している「家庭倫理講演会」もその一つです。

今回のテーマを「生きぬく力」としたのは、老若男女を問わず、今日ほどそれが強く求められている時はない、と確信したからです。どうか奮って会場に足をお運びください。皆様がそれぞれに、より豊かな人生を創造する契機になることを願ってやみません。

三月八日は  
夏時間 開始です。  
一時間早くなります。

歩み続けるひとびと

## 「氣と骨」

DVDとブックレット

五周年を迎える『新世』巻頭連載「氣と骨」が、インタビューを中心とした映像DVDと、より豊富な写真と情報のカラー冊子のセットになりました。もっと知りたいという、多くの読者の声にお応えします。映像、写真、文章、年表で、それぞれの気骨あふれる人生に大切な気づきを得て、激動の歴史に触れる貴重な字びのシリーズ。いよいよ発売開始です。

大久保あい子さん  
倫理研究所参事 一〇一歳  
倫理と歩んで六〇年、「人の喜びは必ず還ってきます」

池田武邦氏  
建築家・

日本設計創立者 九〇歳  
超高層設計のバイオニアの  
高い理想と不屈の志

各、十ドルです。  
講演会で販売いたしますので  
会場でお求めください。

## 目標一五〇名

倫理文化講演会があと一ヶ月余りとなりました。開催趣旨にあるように、私たちを取り巻く世界は日々、激しく変わっています。落ち着いてしつかり生活するには、まず家庭です。温かい家庭があるから明日への力が沸くのです。

倫理は生活法則です。お友達を、お知り合いを講演会にお誘いしましょう。一人でも多くの方に講演を聞いて頂き、家庭を良くする方法、生活法則を知って頂きましょう。

今日から、お声をかけましょう。お誘いしましょう。忙しい方も、遠くの方もお誘いしましょう。来る、来ないはあちらが決めること。私たちはまず、お声かけから始めましょう。

講演会の日、三月八日は夏時間開始の日です。時間が一時間早くなりますから、お誘いの言葉にそれらも添えてください。

講演会成功を目指してみんなで頑張りましょう。

### 倫理モーニングミクスチャー

一月十一日(日) トーランスの倫理オフィスにて、日本より藤崎正剛本部長、教育企画部部長をお迎えして八時半より開始。司会は川田末子さん。倫理体操に続き第六条を輪読。実践報告者は四人。

続いて講話。藤崎先生の出身地からご家族のこと、子供時代のことを自己紹介を兼ねてお話してくださいました。そして講話の本題へ。純粋倫理における原点は実践である。学び『万人幸福の栞』と実践。これは車の両輪のようなものである。

創始者である丸山敏雄先生のふたつの教えのひとつ目は「倫理は実践によって成る。」ふたつ目は「実践無き倫理は雑念に等しい。」続いて7アクト(七つの基本動作)「偉大なるセオリ」の輪読。

最後に実践の心構えをお話しいただいた。「素直に、喜んで、明るく。」理屈なくやってみること。すべて無条件に実行すること。ただ喜んで全力を尽くすこと。

「皆さん、これらを念頭において日々の実践に励んでいきましょう！」

藤崎理事の力強いお言葉で講話終了。

次に毎年広島からサウスベイ在住の息子さんを訪問なさる佐藤乃布子さんが、もみじ柄のあてやかな着物姿で新年のご挨拶。

私たち全員に乃布子さん手書きのイラストいり手創りの箸袋(塗り箸入り)をくださる。いつもながらの暖かいお心づかいに一同感謝感激。きつと今年も良い一年になります。

(出席者二十七名)  
(伊澤潤子記)

### 7アクト

一、あいさつが示す人から、躊躇せず先手で明るくハッキリと。

二、返事は好意のバロメーター、打てば響く「ハイ」の一言。

三、気づいたことは即行即止、間髪いれずに実行を。

四、先手は勝つ手五分前、心を整え完全燃焼

五、背筋を伸ばしてあごをひく、姿勢は氣力の第一歩。

六、友情はルールを守る心から、連帯感を育てよう。

七、物の整理は心の整理、感謝をこめて後始末。

### 倫理セミナー

「自立への始まり」

一月十一日(日) 午後一時半〜三時まで二ユーガーデナーホテルに於いて開かれました。講師は藤崎正剛教育企画部長。

純粋倫理とは「生活の法則」人としての生きる筋道であり、心のあり方、心の有り様を重要視する学びで実践する事がたいせつである。

自立とは全ての人間関係に通ずるもので、自分の存在を認めてもらいたい、認めて欲しいという要求は誰しも持っている。

部長は例話として、自分の母は厳しい舅の介護をする中で辛く悲しいこともあったが、倫理の教えに触れていたことで心を切り替えて介護をする中で、最後に舅が「りつ子さんのお陰で」と言う言葉を聞き、今までの苦労が瞬時に消えうせてしまった

ということをも、母から聞いたと話されました。

大人になっても自分自身の働きを認めてもらうことはとても嬉しい気持ちになるものです。まして子供一人ひとりには個性がある。子供を認めて育てあげると子供は伸びる。

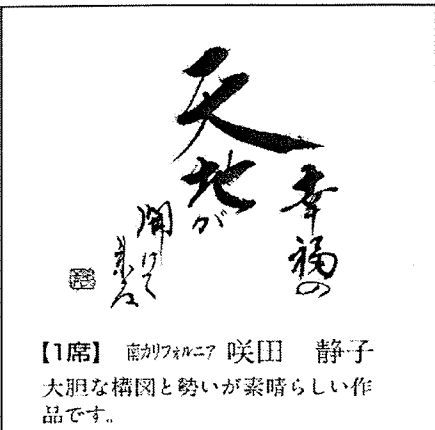
また、部長自身の小学生の時の経験を例に取り、子ども自身を認めて育てあげること、他の子供と比べるような事はもちださずその子自身だけを誉めること。その子供は百点を取った自分自身の喜びよりも、母親と共に喜んでくれるお母さんの笑顔を見ることの方が嬉しいのだから・・・

部長の娘さん達の悩みを奥様が一生懸命じっくりと耳を傾け聞き受け止めてあげてあげて度々目にする事があった。決して奥様のほうより意見を言うことなくしつかりと娘さん達の思いや悩みを汲み取ってあげると、子供に心を切り替えるチャンスを与え、子ども自身が問題を解決する力をもっているのだと・・・  
姉妹の子を養子とした夫

婦は大きくなるにつれて悪くなる子に悩み、生活指導を受けた。その子は家族を良くして行くこうとする為に自分自身を苦しめ大事な事を教えてくれていると指導を受け、本当のわが子として育てて行こうと夫婦が心をひとつにして育てて行く中、その子は今教師となり親を安心させ喜ばしてくれている。

また部長自身の経験を話され、子供にお父さんがお母さんを大事にし仲良くしている事が伝われば、その喜びが子供たちの心を穏やかに落ち着かせるものである。

子供は親夫婦が仲良くしているのを見るのが一番幸せを感じる。子供の心の寂しさや嬉しさが色々に行動として表れてくるものであると話された。やさしい例話で「自立」



の心が良く理解できました。雨天にもかかわらず沢山の非会員に参加を頂き実り多いセミナーとなりました。

(参加者五十二名)  
(内未会員二十名)  
(梅本和子記)

### 倫理ビジネスネットワーク勉強会

去る一月九日(金)午後七時から、倫理オフィスにて本部生涯局教育企画部長・藤崎正剛氏を招いての勉強会を開催しました。

藤崎先生は海外をご担当されており、先般は台湾、ブラジルを廻つてこられ、それぞれの支部の活動状況を教えて頂きとても参考になりました。特にブラジルは言葉の壁を乗り越え組織拡大をはかっていることに感銘を受けました。「成せば成る」ですね。

またこの度は私たちの今後の活動をどのように運営していったらよいかということを中心に、ご指導いただきました。特に、倫理研究所は純粋倫理を基本とし、「学ぶだけではなく、「実践をする会」であり、実践から生まれる喜び、体験すれば必ず答えが出る。ということを学びま

した。今回の学びを生かして会員拡大と実践に力を入れていきたいと思えます。藤崎先生ありがとうございました。ごさいます。

参加者：飯田隆、佐藤昭、石黒一光、橋勝雄、川田末子、佐藤乃布子、(飯田隆記)

### 純粋倫理基礎講座(八)

一月十日(土)午前十時～十二時、藤崎教育企画部長による講座が、倫理オフィスで開催されました。第八講は「丸山敏雄先生の願い」です。

丸山敏雄理事長の願いを講義され、敏雄先生の願いに入りました。

丸山敏雄先生が倫理研究所を創立した時の「新世会趣意書」今にしてこれを改めなければ、悔いを後にのこすでしょう。自ら助けるものでなければ、天は助けません。本会はこうした止むに止まれぬ念願から発足致しました。・・・という思い。

倫理を世に知らしめるために「皆さんがやれなくても、これは私一人でやります。」とおだやかに、しかし、きっぱりと言明した丸山敏雄先生の決意。敏雄先生が亡くなる二ヶ月

前に書いた「宣」のこと。敏雄先生の願いを汲み取り、倫理普及の実践の取り組み方を学びました。倫理の基本が良くわかって学びにも力が入る講義でした。ありがとうございました。(出席者十四名)  
(ホソ史子記)

### お雑煮会

一月十一日(日)十時半よりオフィスに於いて藤崎正剛本部長理事教育企画部長を交えてお雑煮会が行われました。

朝の集いの後のお雑煮会、その後はセミナーというスケジュールの中、会員心づくしのおせち。恒例となつております滝川さん前田さんによる特製のスープでつきたてのお餅でのお雑煮を頂戴した。おいしい時間の後は先生への感謝の記念品贈呈、二〇一四年度の皆勤賞が4人に手渡され、今年度の会の益々の発展を願いお開きとなりました。(出席者 三十一名)  
(氏家正子記)

### 二〇一四年度皆勤賞

大島藤江さん、氏家正子さん、梅本豊造さん、梅本和子さん  
四人の皆様、本当にありがとうございます。今年度は私たちががんばりましょう。

おめでどうございます

『しきなみ』一月号

群螢集（西東京・海外）

二席 草野律子

己が短歌を己の筆で書き上げる夢の叶いぬ  
調和体にて

【評】書道に深く親しんでおられる心境が歌となつた。秀逸という他ない。

入選 梅本豊造

孫たちは水でつぼうを持ち泳ぎ互いにか  
合う浮き沈みして

真砂集（西東京・海外）

三席 杉野和子

照りつける太陽浴びて向日葵（ひまわり）  
は空の青さに負けじと金色

飛雲集（西東京・海外）

入選 伊澤潤子

青青と繁った葉かげに実をつけたゴーヤの  
緑が夕日に映える

『秋津書道』一月号

競書

五席 長谷川きみ子 高等部（東京）

八席 梅本豊造 々 々

入選 堀井幸江 々 々

二席 前田グレース 一般部（東京）行書

入選 榊中恵美子 々 々

八席 ノーリスてるみ 一般部（東京）楷書

入選 竹内康子 々 々

入選 高田弓子 々 々

入選 高橋忠彦 々 々 々  
調和体

一席 咲田静子 高等部

有盲其  
徒古道

南カリフォルニア 前田グレース

2席 前田グレース

線に緩急をつけて変化があり美しい。

之是是  
道馬鳥

南カリフォルニア ノーリスてるみ

8席 ノーリスてるみ

しきなみ短歌

少しでも娘のストレスやわらげと吾の手料  
理を夜中に作る 摺木洋子

足早に歩く人等の肩越しにすずの音ひびく  
師走の街角 松元依子

紅葉の木の間に静まるジャクソー心地よ  
き湯に安らぎ居たり 滝川歌子

姉さんの電話のひとことに幸せの一日はじまる  
今日も明るく 奥本洋子

雨上がりガラスの教会はさんさんと夕陽に輝う  
厳かにして 杉野和子

電車での乗り替え方法むずかしく吾の日本語役  
にもたたず 長谷川松子

しわ深き姑の笑顔の続くようありとあらゆる神  
に祈らん 塩出笑子

感謝祭嫁いだ娘も里帰りターキー困んで一家だ  
んらん 飯田隆

溶接の眼鏡かぶり太陽の欠け行く姿孫と見入り  
ぬ 梅本豊造

親族がターキー囲み会食す神の恵みが満ちたる  
一夜 梅本和子

秋深み葉の散りはてた柿の木に留まりて雀一声  
鳴き去る 門園美枝子

風船のお化けと自分の名だけの孫の絵手紙温も  
り漂う ホン史子

上下と針を刺しゆくキルティングのモチーフの  
花の浮かび来て彩 松永典子

秋の空高くなつたと深呼吸息子と二人スタバの  
テラス 尾崎よしみ

餌求めたびたび来たる迷い猫今ではなれてわが  
家のつもり 与那覇寛雄

雲間から朝陽射しこむエンセナダすべるが如く  
船は向かいぬ 森田のりえ

仮帰宅の友に歌うよその夫が「お前が居るから俺  
も生きる」と 草野律子

凜として着物を纏う親友は優しく誘う美しき伴  
侶を 矢口裕司